

児童養護施設の高機能化 とは何か



プログラム



企画：森茂起（甲南大学人間科学研究所長）

基調講演

西澤 哲（山梨県立大学）

「新しい社会的養育ビジョンが目指す施設の高機能化とは」

シンポジウム

星野崇啓（さいたま子どものこころクリニック院長）

「施設の高機能化のために必要な視点」

鈴木まや（尼崎市社会福祉事業団）

「児童養護施設から見えるできることとできないこと」

日時：2020年1月25日（土） 18:00～20:00

場所：甲南大学18号館3階 講演室

参加費：無料

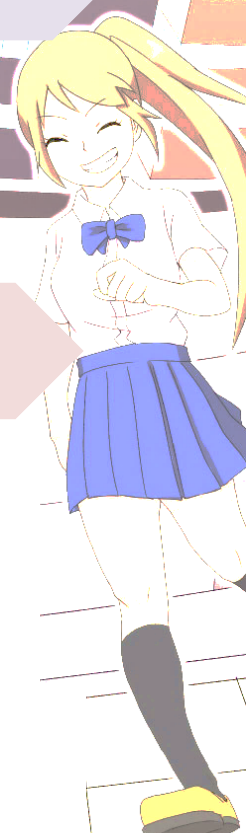
お申し込み：不要

お問い合わせ

ご来所の際は、公共交通機関をご利用ください。

甲南大学人間科学研究所

TEL/FAX:078-435-2683 E-mail:kihs@konan-u.ac.jp



シンポジウム内容

「新しい社会的養育ビジョン」が2017年に発表されて以来、そこで求められる社会的養護の役割について様々の議論が交わされてきました。また、今年度は、各都道府県で「社会的養育推進計画」の改定案が検討され、すでにおよその内容が定まってきた頃と思われます。

「ビジョン」の内容、およびその後の進行では、居住型の児童福祉施設の機能の見直しおよび高機能化が求められています。そして、その必要性自体については児童福祉施設の実践家のあいだで共有されているものと思われます。本シンポジウムでは、児童福祉施設の大多数を占め役割の見直しを求められている児童養護施設に焦点を当て、高機能化の実際についてビジョンを描くことを目的とします。

この目的の背景には、過去の子ども虐待防止対策で求められてきた施設の高機能化が「治療」の側面に特化され、精神医学や心理療法の専門家の関わりに焦点が当たってきた経緯があります。そうした領域との連携が今後必要であることは言うまでもありません。しかし、今回求められ、また本来求められるべきものは、日々の生活における「ケア」「支援」「子育て」の水準向上に他なりません。それによる子育ての専門性の向上なくしては、里親支援、地域の子育て支援などの「多機能化」への対応も心もとないものになります。

では、その質向上とは具体的には何なのかを考えてみたいと考え、「児童養護施設の高機能化とは何か」と題するシンポジウムを企画しました。子どもの健康な成育にとって何が重要かという「社会的養育」の観点を大切にし、社会的養護のみならず「社会的養育」全般にも示唆が得られることを目指します。関連領域の多くの方に参加いただき、参加者が自身の思いと考えを整理し、今後の実践への展望を描く機会になれば幸いです。

